国語

TYPE L

1 三

「動画を用いて話合いの中の自分の発言を振り返る」

～話題や展開を捉えながら話し合い，互いの発言を結び付けて考えをまとめる～

話合いの話題や方向を捉えて話す内容を考える際に，適切な発言について考えることに課題が見られました。そこで，本授業アイディア例では，話合いの様子を動画で記録し，それを用いて話合いを分析する学習を提案します。ICTを活用して話合いの様子を個人で振り返ったり，振り返った内容をグループで共有したりすることを通して，話題や展開を捉えながら話し合い，互いの発言を結び付けて考えをまとめる力を身に付けることをねらいとします。

課題の見られた問題の概要と結果

1 話合いをする（地域清掃活動）

1三 正答率 **57.5**%

参加者の誰がどのようなことについて発言するとよいかと，そのように考えた理由を書く。

学習指導要領における内容

〔第１学年〕
思考力，判断力，表現力等
A　話すこと・聞くこと　オ

授業アイディア例

学習の流れ

学習の見通しをもつ。
一つの議題についてグループで話し合い，その様子を動画で記録する。
動画を基に，各自で自分の発言を振り返る。（第１時）

→ 前時で振り返った内容について，グループで交流する。
グループで交流した内容を学級全体で共有する。（第２時）
※　各教科等での話し合う活動に生かす。

→ 各教科等での話し合う活動の際に，第２時までに学習した内容を生かすことができたかどうかについて，各自で振り返り，学級全体で共有する。（第３時）
※　今後の話し合う活動に更に生かす。

（言語活動）　動画を用いて各自で話合いを振り返り，よい点や改善点を次の話合いに生かす。

授業前の教師の準備

1三についての生徒の解答の状況を「解答類型」（令和３年度　報告書　中学校　国語）に照らして把握する。特に，以下の「解答類型」の生徒の解答の状況に着目する。

- 「解答類型３」の生徒
  話合いの話題や方向を捉えた発言について指摘することはできているが，そのような発言をする理由を具体的に示すことができていない。
- 「解答類型４」の生徒
  話合いの話題や方向を捉え，どのような発言をすればよいのかを示すことができていない。

第1時

❶　学習の見通しをもつ。

教師

一つの議題についてグループで話し合う様子を動画で記録し，その動画を基にして自分の話合いの様子のよい点や改善点について振り返ったり，振り返った内容をグループで交流したりします。また，各教科等での話し合う活動に生かすことができたかどうかについて確かめます。

❷　議題についてグループで話し合い，その様子を動画で記録する。
※　話合いの時間は，10 ～ 15 分間程度を目安とする。

議題の例

- 学級のスローガン
- 学校図書館の利活用促進のための方法

など，一定の合意を形成して物事を決める必要のあるもの。

ICT を活用した記録の仕方の例

- グループの全員の姿が収まるように撮影する。その際，補助マイクを設置するなどして，全員の音声が入るように工夫する。
- 自分の姿が収まるように，各自で撮影する。

など

❸　❷で記録した動画を各自で振り返り，自分の発言について気付いたことをノートに書く。

ポイント

話合いを振り返る際の観点の例

❶ 話合いの話題や展開を捉えた発言をしていたか。
❷ ❶について，なぜそのような発言をしたのか。
❸ よりよい話合いにするために，どの場面でどのような発言をすることが考えられたか。
❹ ❸について，なぜそのような発言をするとよかったのか。

など

第１時終了後の教師の分析

第１時終了後に，ノートの記述内容を分析する。
授業前に把握した「解答類型３」，「解答類型４」に該当する生徒が，次の観点についてできているかどうかを見る。
- 話合いの話題や展開を捉えた発言や，そのような発言をした理由について具体的に述べている。
- よりよい話合いにするための発言や，そのような発言が望まれた理由について具体的に述べている。

第１時終了後に不十分だった生徒については，第２時，第３時の学習の様子を観察し，必要に応じて指導する。

第2時

❹ ❸で書いた内容について，グループで交流する。必要に応じて，❷で記録した動画を確認する。

〔交流している場面の例〕　※　ここでは，「学級のスローガン」について話し合った動画を振り返っている場面を示す。

Aさん

今回の話合いでは，グループ全員が納得する「学級のスローガン」の案を一つに決めることができませんでした。最初は，私も含めてみんなが，それぞれよいと考える案とそのように考えた理由について述べていたのですが，全員が一回ずつ発言した後は，発言する人がほとんどいなくなってしまいました。同じような意見がいくつか出ていたので，それぞれの意見の共通点や相違点を指摘する発言をすればよかったと思いました。

私が考えた案と，Ａさんの案には共通する部分があったので，Ａさんの発言の後に，その部分に触れる発言をすれば，話合いがまとまる方向へ進んだのではないかと，動画を見て感じました。

最初にＡさんが，「発言する際には，理由も必ず述べてください」と注意してくれたので，私も「学級のスローガン」の案だけでなく，その理由も述べることに留意しました。話合いを深めるために，私は，他の人の意見や理由について，いろいろと質問をすればよかったと反省しました。

私も，自分の考えを述べるのに精一杯で，みんなの発言を結び付けて考えることができていませんでした。今後話し合う際には，「互いの発言の共通点や相違点を整理する」，「互いの発言について気になるところを質問し合う」ことなどを心がけたいと思います。

❺ ❹で交流した内容を学級全体で共有し，各教科等での話し合う活動に生かす。

第3時

※　第２時と第３時の間に一定の期間を置き，総合的な学習の時間や特別活動など，各教科等での話し合う活動と関連させるなどの工夫をする。その際，話合いの様子を動画で記録しておくことも考えられる。

❻ 各教科等での話し合う活動の際に，第２時までに学習した内容を生かすことができたかどうかについて，各自で振り返り，学級全体で共有する。

今回学習したことを，今後の各教科等での話し合う活動に更に生かしていきましょう。

本授業アイディア例 活用のポイント！

- 下記の教科書等と関連させて指導することも考えられる。　※　発行者は，五十音順に掲載。

学年	教育出版 『伝え合う言葉　中学国語』	三省堂 『現代の国語』	東京書籍 『新しい国語』	光村図書出版 『国語』
1	発言を結びつけて話し合う (P.223)	話題や展開にそって話し合いをつなげる (P.30)	話し合いで理解を深めよう (P.193)	話題や展開を捉えて話し合おう (P.146)
2	よりよい結論を導く討論をする (P.233)	互いの考えを尊重しながら話し合いを深める (P.34)	話し合いで問題を検討しよう (P.193)	立場を尊重して話し合おう (P.140)
3	意見を共有しながら話し合う (P.235)	合意形成に向けて話し合いを計画的に進める (P.34)	話し合いで意見をまとめよう (P.197)	合意形成に向けて話し合おう (P.136)

- 以下の授業アイディア例と関連させて指導することも考えられる。
  - 「平成24年度【中学校】授業アイディア例」P.3～P.4「対談を読んで考えたことを基に座談会を行う。」
  - 「平成25年度【中学校】授業アイディア例」P.7「話合いの動画を見ながら，司会の役割を話し合う」
  - 「平成26年度【中学校】授業アイディア例」P.7「互いの発言を整理しながら，話し合おう」
  - 「平成28年度【中学校】授業アイディア例」P.4「動画を用いて話合いを振り返る」
  - 「平成31年度（令和元年度）【中学校】授業アイディア例」P.5～P.6「『話し合いのデザインシート』を用いて話し合おう」

参照「令和3年度　報告書　中学校　国語」P.20～P.26，「令和3年度　解説資料　中学校　国語」P.12～P.17